

日本あちこち河川遡行記（第 293 回）

奈良 1-8. 寺川（その 3）後半 令和 1 年 10 月 11 日（金）曇り一時雨

〔 続き 〕

バスが上がって来た道は避けて本来の参道から下ることにする。両側に杉の古木が並ぶ急な坂道を背中を押されるように下る。踵の痛さも今は感じずにホイホイと歩く。誰とも出会わず下って来ると参道の出入り口に着く。もみじに囲まれた趣のある門と別れを告げ直ぐの県道の交差点に向かう。



18.杉の古木が並ぶ参道を下る



19.下って来たところが神社の入り口

神社から下ってくる県道 155 号と吉野に向かう県道 37 号の交差点の手前に寺川が狭い流れとして北に流れている。県道の橋名は「屋形橋」。直ぐ下流には橋名の基になった屋形の屋根付きの木橋が川を渡っている。金毘羅さんにもこの形の橋が有ったのを想いだす。よく見れば桁は木では無く鋼桁である。鋼桁で架け直したのだろう。



20.屋形橋の桁は鋼桁でした

交差点近くのバス停名は「多武峰」。ベンチが有ったので難波駅で買った神戸の弁当屋のお握り弁当を開く。難波に神戸の弁当？阪神と繋がったからだ。

すぐに歩きを再開すると休んだために踵の痛みが出て来る。県道から狭い旧道を下って行くと「不動延命滝」の入り口に差し掛かる。道際に大きな苔むした岩の真ん中が真っ二つに名刀で切られたように裂けている。御破裂山ならぬ御破裂岩である。役者が揃っているなー。

滝は道のすぐ横の橋の向こうに有る。道沿いの木が邪魔をしてよくその姿は見えない。滝つぼに行ける狭い道が有るが足元不用意なので降りないで木の間から姿を見る。延命だから懸命に見なくちゃあね。



21.見事に裂けた大石



22.延命の滝が県道近くに



23.樹木に隠れた滝



24.樹の間から滝を見る

道路は1.5車線幅と2車線が混在する低規格の道である。「音羽」地区まで

来ると県道改良の新しい橋の工事が行われている。川の護岸工事と橋台が完成している。この橋に繋がる既に改良が完成した 200m ほどの区間が現れる。川側にガードレールと柵に守られた歩道が有るので喜んで歩道に入る。下って来ると改良区間が過ぎ歩道も無くなる。先まで行くと二重のガードレールが行く手を遮ってくれる。歩道の先は崖で車道側にも行けず仕方なく元に戻り車道を歩く。奈良県は何をしてるんだ！職員は現場を見ているのか疑わしい。踵の痛さが恨めしい。



25. 県道改良の橋の工事が実施中



26. 改良の済んだ県道の歩道を進むと行き止まり

山里の「倉橋」地区まで下って来ると心配していた雨がポロリと落ちて来た。折り畳み傘をリュックから出し開くと雨が止む。左の道際に「崇峻天皇陵」の石碑が立っている。川沿いに有るようだがパスして県道を西に向かう。32代天皇は天皇としては唯一暗殺された帝である。



27. 暗殺された第32代天皇「崇峻天皇」の陵はこの先に

次の角で橋を見るため川に向かい川沿いの細い道を進む。4橋ほど見て県道に合流する。川向うの山際に大きな寺が見える。国宝の十一面観音菩薩像の有る「聖林寺」のようだ。寺名の橋を過ぎて県道を離れ川に近い市道を北に向かう。すぐに寺を案内する高い石柱が立ち、その向こうに参道に架かる橋が有る。



28.南の山裾に「聖林寺」が見える



29.寺の参道の石柱と「聖林寺橋」

道沿いに古い民家、商家が立ち並ぶ参道らしい道を進むと杉玉を下げた建物の前を通過しかかる。造り酒屋だ。広くも無い土間に入り酒のことを聞き、試飲して珍しい甘口の濃い酒を買い道に戻る。

更に進むと談山神社の大きな石の鳥居が道の東側に立っている。下段の張り出し梁の西側の一部が無くなっている。隣接していた家が火事になりその時に破損したと解説されている。これも破裂だ一。



30.造り酒屋が有ったので立ち寄る



31.桜井市街の南端に立つ一の鳥居

市道と橋が離れているので道と川を何度も往復し、二回ほど川近くに別の道が無いかわ探検をするが行き止まりで元に戻ることを繰り返す。時々急に雨が降り出しノートと地図を濡らしてくれ、慌てて傘をさすと止むことを繰り返す。町の中心部に近づくと川沿いに道が現れホットする。この辺りは三輪そうめんの中小の製造所が固まっている。

川が北から西に方向を変える手前の堰で川水は川には行かず向こうの水路に吸収されてしまっている。市の中心部に水は要らないようだから北西部の田んぼに水を廻したのだろう。



32.川沿いには中小の三輪そうめん製造所が

33.川水は左の水路に獲られているぞ

最後の橋を見て駅に向かう。今日は無駄足をしたので10kmほど歩いたぞ。踵を庇いながらの歩きで左足も変な歩き方をしたのか具合がよろしくない。

これで大和平野の川と橋の調査は終了となる。奈良市の東側を流れ宇陀地区からの流れの名張川と宇陀川も歩きたいが日帰りでは無理なので奈良県はこれまでとして、次は大阪府下の川とするか！

本日の歩行距離：10.2km。調査した橋の数：30。

総歩行距離：10,622.9km。総調査橋数：13,700。

使用した1/25,000地形図：「畝傍山」（和歌山2号-3）、「桜井」（和歌山1号-4）